

標準委員会 システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会
第 22 回統合的安全性向上分科会議事録

1. 日 時 2019 年 7 月 30 日 (火) 14:00～17:40

2. 場 所 JANSI (三田ベルジュビル 13 階) D 会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 成宮主査 (原安進), 上野副主査 (三菱総研), 倉本幹事 (NEL),
水野 (東電 HD; 石崎委員代理), 伊藤委員 (中部電), 佐々木委員 (関電),
鈴木委員 (原安進), 曾根田委員 (日立 GE), 高橋委員 (MHI),
中村委員 (原電), 野口委員 (横浜国立大), 平川委員 (元原安進),
藤井委員 (関電), 三村委員 (東芝 ESS), 与能本委員 (JAEA)

(15 名)

(常時参加者) 小野寺 (三菱総研; 候補), 鎌田 (原安進), 粥川 (北海道電),
白井 (電中研), 橋本 (関電: 田門代理), 大矢 (北陸電; 東山代理),
福井 (九州電), 藤崎 (関電), 山本 (原燃)

(9 名)

(傍聴者) なし

4. 配布資料

S3SC22-1 第 21 回統合的安全性向上分科会議事録 (案)

S3SC22-2 人事について

S3SC22-3-1 IRIDM 標準原案 (公衆審査版)

S3SC22-3-2 IRIDM 標準原案に対する公衆審査での意見 (2019/7/30 時点)

S3SC22-3-3 IRIDM 標準原案に対する公衆審査意見への対応 (案) (2019/7/30 時点)

S3SC22-3-4 IRIDM 標準原案 引用文献及び転載許諾リスト

S3SC22-3-5 IRIDM 標準原案 新旧比較表 (公衆審査版 vs 公衆審査意見等の対応)

S3SC22-4-1 定期安全レビュー標準の扱いに係る今後の対応方針について (案)

S3SC22-4-2 “原子力発電所の定期安全レビュー実施基準:2009” の扱いについて (案)

S3SC22-5-1 PSR+指針技術レポートの検討状況について (案)

S3SC22-5-2 技術レポート “日本原子力学会標準 原子力発電所の安全性向上のための
定期的な評価に関する指針:2015” のより良い理解のために (案)
(2019/7/30 版)

S3SC22-6 検討スケジュール

参考資料:

S3SC22-参考 1 統合的安全性向上分科会 委員名簿

S3SC22-参考 2 レベル 3PRA 標準 (改定版) における国内貨幣評価値の引用

5. 議事内容

倉本幹事より、議事に先立ち、代理委員を含めて委員 17 名中 15 名が出席しており、分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。

(1) 資料確認、前回議事録の確認 (S3SC22-1)

議事次第に基づき、配布資料の確認を行った。

また、第 21 回分科会議事録(案)の確認を行った。特に異議なく、この内容で正式な議事録とすることが承認された。

(2) 人事について (S3SC22-2, S3SC22-参考 1)

資料 S3SC22-2 を用いて、以下の人事案件の確認及び審議を行った。

常時参加者登録に係る審議については、出席委員全員一致での承認を得た。

- ・ 常時参加者の登録解除【報告事項】

杉山 直紀 (三菱総研)

- ・ 常時参加者の登録【承認事項】

小野寺 将規 (三菱総研)

- ・ 常時参加者の所属変更【報告事項】

浜谷 眞一

旧) 原電エンジニアリング → 新) 北陸電力

(3) IRIDM 標準原案に対する公衆審査意見への対応議論 (S3SC22-3-1, S3SC22-3-2, S3SC-3-3, S3SC-3-5, S3SC22-参考 2)

倉本幹事より、各資料を用いて、IRIDM 実施基準案に対する公衆審査において分科会開催時点でいただいている意見 (2 件) への対応方針が説明され、審議を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ 意見 1 への対応として修正した解説 15 の記載につき、安全目標に関する原子力安全委員会での現在の合意事項等の事実関係が反映されていない箇所があり、事実状況を正確に客観的に記載するように更に修正を行う。
- ✓ 意見 1 への対応として、解説 18 の修正が必要ないことは了解だが、対応方針においてその理由も記載をする。
- ✓ 意見 1 への対応として、解説 17 の解説表 3 において、我が国の記載を削除することは了解だが、解説表 3 のタイトルは、b) のタイトルと合わせて“海外で使用されている放射性物質の環境への放出に関わる性能目標指標”と修正を行う。また、b) の記載を、最初に海外での性能目標指標を説明し、最後に我が国との比較を示すように更に修正を行う。また、性能指標と性能目標指標といった用語の揺らぎがあり、統一した用語とするように修正を行う。
- ✓ 解説表 3 において、米国 NRC の指標として CFF の条件付き確率が記載されてい

るが、この記載ではわかりづらく、また我が国だけが CFF を使用しているという説明とも矛盾があるので、記載を修正するか、注記を付して説明するかの対応を行う。

- ✓ 解説表 3 に関する引用文献は規制庁の文献ではなく、1 次文献である OECD/NEA の 2 件の文献であると修正する。また、解説表 3 の備考の記載もわかりにくいものがあり、OECD/NEA の文献に遡って適切な記載にするように修正する必要があるのではないかとの意見があった。
- ✓ 意見 2 への対応として修正・追加した附属書 S (参考) の記載につき、参考文献[8] の著者名、文献タイトルに誤りがあるので、修正を行う。
- ✓ 参考文献[7] の NRC 貨幣価値換算係数に関わる文献については、その更新文献として SECY 文書 (SECY-17-0017) が出されており、参考文献の変更と、表 S.1 の転載記載の変更を行う。
- ✓ e) 貨幣価値換算係数 において国内事例を追記することは了解だが、単位集団線量の貨幣価値の平均値までの詳細を文章で説明するのは不要であるとの議論があり、文章を削除する。
- ✓ 解説 3 の修正・追加した文章で、「ただし」という接続詞で結ぶのは意味が通じず、「また」に修正を行う。さらに、国内の表示事例の説明に関しては「説明にとどまった」という箇所を「評価事例を示した」という記載に修正を行う。
- ✓ 公衆審査ご意見 No.2 に対する対応方針の記載につき、「消極的な意見と見えることは意図したものではありません。」との意見者の意見を否定する言い方は止め、IRIDM 標準の意図を示す記載に修正を行う。
- ✓ 意見 No.2 では、参考文献が他に 2 つ挙げられており、これらにつき標準に記載しない理由についても、対応方針の記載に追加する。
- ✓ 対応方針の記載につき、「・・・修正しました。」等の対応を行ったという文章語尾に修正する。
- ✓ 本日の議論を踏まえて、事務局にて対応案を修正し、分科会での確認を経た上でシステム安全専門部会、リスク専門部会へ報告を行う事とする。
- ✓ 追加の意見等あれば、メールベースで倉本幹事宛に連絡をする。

(4) IRIDM 実施基準案に関する引用文献及び転載許諾の対応議論 (S3SC22-3-4, S3SC22-3-5)

倉本幹事より、各資料を用いて、IRIDM 実施基準案の引用文献の確認及び転載許諾の要否検討、及びそれに伴う実施基準の修正案が説明され、審議を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ 転載許諾が要となる可能性のあるものとして、資料 S3SC22-3-4 により、文献 No.35, 47, 53, 111 があることが説明され、これらへの対応を中心に議論を行った。

- ✓ 文献 No.111 (解説 17 の解説表 4) のような引用文献から転載をしているものについては、図表中に参考文献の名称も明記し、そこに参考文献番号を付すように記載をすべきという議論があった。今後の部会、委員会等の審議や、事務局から要求がある可能性があり、その際にまとめて編集上の対応を行っていくこととする。
- ✓ 新旧比較表 (資料 S3SC22-3-5) の附属書 J (参考) の表 J.1 の修正案において、文字の表記切れ、及び図番号の表記誤りがあるので、修正を行う。
- ✓ 今回の新旧比較は、公衆審査での意見の対応、及び転載許諾関係の対応等の追加の 2 種類がある。
部会報告向けには、それらの説明文章を付け加え、及び新旧比較表を区別した記載工夫を行うようにする。
- ✓ 本日の議論を踏まえて、事務局にて対応案を修正し、分科会での確認を経た上でシステム安全専門部会、リスク専門部会へ報告を行う事とする。
- ✓ 追加の意見等あれば、メールベースで倉本幹事宛に連絡をする。

(5) 定期安全レビュー標準の扱いの議論 (S3SC22-4-1, S3SC22-4-2)

倉本幹事より、各資料を用いて、定期安全レビュー標準の扱いに関する今後の対応方針が説明され、審議を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ 資料 S3SC22-4-1 の 2. 経緯 ④の記載は、文章表現が不適切であり、原子力学会を主語とする文章に修正をする。
- ✓ 2. 経緯 ⑤の記載に関しては、規制者とのコミュニケーションは面談等での実施だと誤解されないよう、メールによる連絡を受けたといった事実を正確に記載するように修正する。
- ✓ PSR2009 標準の廃止をお諮りする資料 (S3SC22-4-2) において、廃止の時期 (標準委員会の承認をもって)、廃止の理由の記載も追加する。また、現状の第 2 パラグラフの記載も不要であり、この資料からは削除する。
- ✓ 本日の議論を踏まえて、事務局にて資料を修正したものを、システム安全専門部会、標準委員会へ報告を行う事とする。
- ✓ 追加の意見等あれば、メールベースで倉本幹事宛に連絡をする。

(6) PSR+指針技術レポートの検討状況の確認及び議論 (S3SC22-5-1, S3SC22-5-2)

倉本幹事より、各資料を用いて、PSR+指針技術レポートの検討状況が説明され、審議を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ 資料 S3SC22-5-1 の資料タイトルは、“PSR+指針の技術レポート” とするか、“技術レポート (PSR+指針のより良い理解のために)” とするか、のいずれかとするのが良いとの議論があり、修正を行う。

- ✓ 資料 S3SC22-5-1 の“1. 検討の意義・目標”の4ポツ目として、技術レポートにすることが迅速性・機動性のみを目的としているのではなく、PSR+指針の今後の改定に活かしていけること、及びユーザーの実務的に利用し易い情報の形式でのまとめを行いやすいことといった利点も強調して記載すべきとの議論があった。同じ記載は、技術レポート案（資料 S3SC22-5-2）の当該箇所にも反映を行う。
- ✓ 技術レポート案の“1. はじめに”において、添付1及び添付2の事も明確に記載し、引用するようにした方が良いとの議論があった、
- ✓ 本日の議論も踏まえて、検討チームにおいて技術レポートの検討を進め、次回の分科会で再度確認、審議をする。
- ✓ 資料 S3SC22-5-2 に関しては、分科会において現状の内容を見てもらい、意見、コメント等を求めていく（8月中を期限とする）。
- ✓ また、資料 S3SC22-5-1 に関し追加の意見等あれば、メールベースで倉本幹事宛に連絡をする。

(7) 今後の予定, その他 (S3SC22-6)

倉本幹事より、今後の検討スケジュールについて説明し、確認を行った。

次回の分科会（第23回）開催については、10月上旬目途（10/9（水）10/10（木）、10/16（水）を候補日とする；いずれも午後開催）で、本日欠席の委員の方の予定も確認した上で決定することとした。

以 上